



学区探訪 シリーズ03 草木

草木地区に人が生活を始めたのが、いつ頃からについてはよく分かっていません。しかし、芳池（現在のデンソー阿久比工場）西南地域で800年ほど前に使用された八基の登り窯が発見されていることから、この頃ではないかと思われます。同時に知多半島の中部を支配した一色氏の一族の傘下に入り、さらに、大野・佐治氏の支配を受けました。それは阿久比の中でも長く「大野庄」に入るといふ他の地域と違う特異な状況を作り上げました。



土曜学習(クサスタ)

月に一度開催される土曜学習で子どもたちの学びを支えています。前半の自学自習では、「赤ペンママ・パパ」が子どもたちの質問に答えます。後半は、地域の方々を講師として様々な体験講座を行っています。学ぶ意欲に着目したこの取組から、子どもたちの伸びようとする気持ちを感じる事ができます。

花かつみ園

阿久比町では、アヤメ科の多年草で6月上旬から中旬にかけて鮮やかな紫色の花を咲かせる野花菖蒲を「花かつみ」と呼んでいます。室町時代に、伯耆（ほうき）の国（今の鳥取県）から、草木の下芳池に移植されたと伝えられています。



初夏の訪れを告げる
“幻の花「花かつみ」”



次回定例会

6月8日(月) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

TEL 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ

議会だより編集特別委員会
委員長 都築清子
副委員長 竹内強
委員 久保秋男
委員 小柳みゆき
委員 竹内卓美
委員 新美三喜雄

(都築清子)

この号が発行される季節には新緑が眩しく、明るい話題で笑顔のあふれる日々であることを祈ります。

（都築清子）

3月議会の頃「コロナウイルス感染防止」のため、あらゆる行事等をどのように対応すべきか関係各所は判断に悩んでいたと思います。

いつの時も判断の是非については、意見の分かれるところですが、その時々「誰のため」であり「優先すべきは何なのか」を考え柔軟さを持ち合わせていきたいと思っています。

編集後記